

1. 今回の議題についての意見、質問などについて

(1) 災害時要援護登録者制度に関すること

- ・精神障害者家族会からの意見です。災害時要援護者登録制度について、その用紙を福祉事業所にも頂きたいという質問がありました。私も同感です。
また、その用紙の項目に、緊急連絡先として地域の知り合いの人の電話番号の欄があり、私はその箇所が埋められないので、登録はしたかったのですが提出できませんでした。精神障害者の家族や一人暮らしの当事者は、地域の中で孤立している方が多いです。知的や身体障害者なら民生委員さんにリストアップされていますが、その制度もなく地域の中で知られずに暮らしている方がほとんどです。要援護登録制度はいい取り組みだと思いますが、地域に知り合いがいる人は地域で援護を受けることもできます。地域で孤立している人のための援護を考えていただきたいと思います。
- ・災害時要援護者制度の申請書類の中に、避難支援者を記入しなければいけません。重い障害のある者の家族として、近所で親しくしている方に、その方も被災者であるため依頼しにくい。障害者は民生委員との繋がりもないことが多いため、支援者の人の名前をあげにくいです。この項目が記入できないが故、申請できない方もおられます。
- ・要援護者申請は一度出したらそのままなので、児童の場合は更新しないといけないと思う。

(2) 避難誘導方法・避難所・ハザードマップについて

- ・先日の台風14号の際、草津市は早い段階で避難レベル3を出し、まちづくりセンターを開設していただきました。地域の町内の町役をやっている関係上、独居の高齢者については、町もリストをあげ把握されており、避難所開設のお知らせと不安な時は避難所へという案内を対面でするよう、町内会長の指示があり、町役として対応しました。
しかし、町内の障害者に対しての情報や声掛けなどのリストは開示されることはなく、指示もありませんでした。地域における障害者、特に一人暮らしの障害のある方についての災害時の備えや避難へのサポートなどが課題であると感じました。地域と障害のある方との繋がりが、かなりうすく災害時、障害のある方が取り残されるのでは？という不安さがあります。また、本会にて検討いただきたいと思いました。
- ・先日の台風の際、緊急メールが発信された。障害のある方はみな驚かれ、不安になったと思われる。通知の表現は工夫が必要かもしれない。移動しやすいうちに避難するのがベストではあるが、全戸に対する避難メールでは、なかなか判断が難しい。自宅にいる方が安全かどうか・・・。
ハザードマップを日頃からみておくこと（支援者・当事者ともに）。
避難所の確認などを意識しておかないといけない。特に車いすに対応できない小規模避難所と大規模避難所、福祉避難所との連携は必要であるが、どの避難所も車いす等に対応できる体制（スロープ・ブルーシートを敷くなど。介助人員含む）を早いうちに整えてほしい。
- ・今週の台風時にも避難された高齢者の方もいますが、避難先の職員さんの対応が良くないとききました。もし、その場に障害の方がいたら対応はどうなるのでしょうか？安全を求めて避難されていても、対応がしっかりしていないと避難できないと思います。
- ・避難するかしないかは個人の判断ともいわれましたが、独居も障害者がその判断を的確できるかどうかは疑問です。

(3) 個別避難計画について

- ・滋賀モデルの情報など、大変参考になりました。
- ・個別に支援計画を配布されているようですが、施設内の利用者に聞いてもみんな知らないと言われ

ました。改めて選定と支援計画の周知方法を検討してほしい。

(4) 障害者支援と災害対策への全体の意見

- ・わかりやすかった。
- ・大変参考になった。
- ・災害に関する制度や取り組みについて学ぶことができてよかった。障害福祉と関わる視点を教えて頂いたので、関係機関と一緒に考えていきたい。
- ・アンケートが事前にあったので、当日はもう少しスムーズな回答方法があればより良かったと思う。
- ・P8 防災に関するアンケートについては、一問一答が長く感じられた。書面にてQ&Aにすれば見てわかるとを感じる。
- ・障害と地域のつながりをどのように作っていくのか? 「共助」のための備えを考えるべきだと思う。
- ・様々な意見が聞けてよかった。今までのような防災対策ではなく、日々考えて改善していくことが大切と感じた。今回の講義を聴いていても市とのそもそもの考え方の違いが大きいと感じた。これを埋めていくために、まずは身近なところで話しをすすめたいと思います。
- ・目標や指針、いつまでに何をする課題、解決しなければいけないこと等、もう少しセグメントを狭くした明確な「活動目的」をかかげれば、みな業務内容(相談員・通所・GHなど)が違う中で、ビジョンを合わせやすく、ある意味活性化すると思います。
- ・相談支援とは? 生活介護とは? 居宅介護とか? など各サービスの内容を、ひとつの事業所を例として一日の取り組みを発表するなど、具体的に説明してもらうのもよいのではないか。
- ・事業所で避難訓練は行っている。地域ごとの大規模な訓練はできないのでしょうか。
- ・国の制度、市の制度の管理も必要かも。
- ・あまり、重点が理解できませんでした。一番に何を伝えたいのかが分からないままでした。

2. 自立支援協議会の運営等、全体的なことでの意見について

- ・びわこ薬剤師会さんの取り組み、ぜひ活用したいです。
- ・当施設と関わりが深そうな部会等に参加したいと考えているが、どうしたらいいかわかりにくい。紹介してほしい。(してもらえると参加しやすい)
- ・社会資源の検索ができるようになりよかった。
- ・いつも内容が工夫されていて、大変勉強になった。
- ・各福祉部にて、困っていること等を話ができる場(連携できる場)がほしい。様々な分野の方々が来ているのもっと話がしたい。

3. その他、気づいた点について

- ・後半、周りを見ても下を見たり、寝ている人もいたので、さらによりよい会議にしてほしい。
- ・もし可能なら、メンタルヘルスの研修をしてほしい。以前、自殺予防研修を受けた時、支援者自身のメンタル(生きる姿勢)についてもお話いただき、自分の肩の力が抜け、軽くなった。(とても良い講師でした) もっと言えば、自立支援協議会に集う人たち(同士)が仲間であるという意識が生まれるような心をもみほぐす研修があれば・・・。